

# すくい 議会だより

No.94  
2015.7  
編集／議会広報編集特別委員会



●今号の主な内容

- 議長あいさつ…2
- 6月定例会のあらまし…2
- 6月定例会議決結果等一覧…4
- 臨時会のあらまし…5
- 町政を問う
- 一般質問** 6議員が質問…7
- あの質問はどうなった…13
- 在京町友会参加報告…14
- 常任委員会活動報告…15
- 議会議員選挙結果報告…17
- 皆さんからのご意見…18
- ふるさとへの便り(60) …19
- 雫石町へようこそ…20

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ  
「雫石町サッカースポーツ少年団」

# 6月定例会のあらまし



## 6月定例会を終えて

雫石町議会議長 石亀 貢

平成27年第4回雫石町議会定例会(6月定例会)を終えての所感をご報告いたします。

今定例会の会期は、6月5日から12日までの8日間となりました。

6名の議員が一般質問に立ち、地方創生に係る地方版総合戦略や町有地14ヘクタールの活用策など多岐にわたり、当局と活発な議論が交わされました。また、御所公民館体育室の屋根補修工事や新たに林業対策専門員を配置する補正予算などが上程され、慎重審議の結果それぞれ可決されました。このほか、副町長と御明神財産区管理委員7名の人事同意案件、さらには、請願・陳情についても現地調査を実施しながら審査報告がされました。

さて、我々町議会議員一同は7月30日をもって任期満了を迎えることとなります。今期において多くの町民の皆様からご指導、ご協力を賜り、議会を代表し厚く御礼申し上げます。

今期4年間を振り返りますと、東日本大震災の復旧・復興はもとより、平成25年8月9日の未曾有の豪雨が本町を襲い甚大な被害を受けるな

ど、改めて防災や減災が問われることとなりました。安心安全な地域づくりを目指し、今後とも住みよいまちづくりに町民一丸となって取り組んでいかなければならないと思うところであります。

一方、議会においては議会改革に向けた取り組みが積極的に行われました。議員定数を見直したほか、議会の最高規範となる「雫石町議会基本条例」を議員発議により制定いたしました。本条例は、議会及び議員の役割を明らかにし町民の声を議会活動に結び付けていく基本姿勢を示したものと思っております。

今秋、インターネット配信を利用した議場内の映像配信についても可能となることからパソコンや携帯端末を利用し町政に関心を寄せていただければ幸いです。

以上、諸般について申し上げましたが、町民皆様のごこれまでのご支援に重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも本町議会に対する一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、議会報告といたします。

## 27年度一般会計補正予算(第1号) 1億1,032万8千円を可決

平成27年6月定例会は、6月5日から12日までの8日間の会期で行われました。

本定例会では報告11件と、条例改正等案件2件、補正予算案件2件、和解及び損害賠償に関する案件1件、人事案件8件の計13件が審議され、全て原案通り可決しました。

このほか、請願2件、陳情1件を常任委員会に付託し、審査結果(P4参照)のとおり決定されました。

一般質問は、6名が登壇し、2日間にわたり町政についてたどしました。今定例会をもって現議員の任期中の定例会は全て終了しました。

## 条例の一部改正

### ○零石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

国保運営協議会の委員報酬額を町の他委員報酬と同額にするもの及び、林業対策専門員の報酬額を定めようとするもの。

### ○零石町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正について

乳幼児医療費助成事業の入院医療費助成対象者を拡大するため、一部改正するもの。

### ○主な質疑

**問** 改正により、どれぐらい町の負担が軽くなるのか。  
**答** 年額で36万円ほど減額となる。(安心子育て医療費給付の対象となり県負担金となる。)

## 補正予算

### ○27年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1億1,032万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ89億6,532万8千円とするもの。

### ○一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	計
88億5,500万円	1億1,032万8千円	89億6,532万8千円

### 主な予算内訳

▶光ケーブル移設等工事(増)	518万4千円
▶電子自治体推進事業	230万6千円
▶臨時福祉給付金支給事業	3,184万6千円
▶子育て臨時特例給付金支給事業	698万5千円
▶多面的機能支払事業(増)	2,353万4千円
▶林業対策専門員報酬	162万0千円



多面的機能支払事業活動の様子(五区環境保全の会)

### ○27年度下水道事業会計補正予算(第1号)

資本的収入及び支出の予定額を下記のとおり補正するもの

#### 収入

##### ▶公共下水道事業資本的収入

企業債(増)	10万0千円
補助金(増)	20万0千円

#### 支出

##### ▶公共下水道事業資本的支出

建設改良費(増)	250万0千円
----------	---------

## その他

### ○和解及び損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて

交通事故に伴う損害賠償について、和解し、損害賠償の額を定めるため議決を求めるもの。

損害賠償額 518,400円

### ○主な質疑

**問** 除雪事業について、事故、損害賠償等が多く発生をしている。事故発生を反省しながらやっていたかなくてはならないと思うが、どのように考えているか。

**答** 除雪関係の事故は、平成26年度においては5件。その都度オペレーターを管理する行政として反省し、仕事の手順、心構えを再三再四きちんとチェックしているが、行政管理指導の不徹底ということで猛反省をしている。

27年度に向けて、再度、事前の教育、心構えについて厳しい意識を持ってやっていきたい。

**問** 陸運局指定等の講習等の安全教育をやれていないと聞いているが、事故とは関係がないと認識しているか。

**答** 安全教育講習は、非常に基本的な大事な部分と認識をしている。今後は計画を立てて進めていきたい。

27年度の体制については、今後検討していくが、講習あるいは安全教育の部分も決められたものを取り入れてやっていきたい。



## 臨時会

平成 27 年第 3 回臨時会が 5 月 8 日(金)に開催され、専決処分など 4 件について、審議されました。

### ■条例の一部改正

#### ○雫石町税条例等の一部を改正する条例の専決処分 に関し承認を求めることについて

- ・ 地方税法等の一部を改正する法律等の改正を受けて、住宅借入金に係る住民税額の特別控除適用期間の延長、個人住民税寄付金控除に係る申告の特例など、税条例等の一部改正をするもの

### ■補正予算

#### ○平成 26 年度雫石町一般会計補正予算(第 10 号) の専決処分に関し承認を求めることについて

- ・ 平成 26 年度の事業の確定等に伴うもの

#### ○平成 26 年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第 3 号)の専決処分に関し承認を 求めることについて

- ・ 平成 26 年度の事業の確定等に伴うもの

### ■その他

#### ○和解に関し議決を求めることについて

- ・ 3.11 に発生した東京電力(株)原子力発電所事故に起因する損害賠償請求に係る和解をするもの

### ■人事

#### ○農業委員会委員の推薦について

農業委員会等に関する法律第 12 条第 2 項の規定に基づき、町長から農業委員会委員となる者の推薦を求められたものに対し、学識経験を有する下記の 3 名を議会推薦とすることに決定しました。

小赤澤 悦子 さん(55 歳・小赤沢行政区)  
佐々木 秀子 さん(56 歳・雫石谷地行政区)  
八丁野 よし子 さん(58 歳・西根谷地行政区)

農業委員の任期は、平成 27 年 5 月 15 日～平成 30 年 5 月 14 日までの 3 年間です。

### 平成 27 年第 3 回雫石町議会臨時会 議決結果等一覧 会期：5 月 8 日(金)

議案 番号	議案 等号	議案 内容	議員名																採決 結果				
			横手 寿明	山崎 芳邦	田屋 篤愛子	幅 秀哉	岩持 清美	山崎 留美子	加藤 眞純	杉澤 敏明	川口 一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	田中 栄一	大村 昭東	上野 三四二	坂下 栄一		坊屋 鋪俊一	平子 忠雄	村田 厚生	
承第 1 号	認	雫石町税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承第 2 号	認	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算(第 10 号)の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承第 3 号	認	平成 26 年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第 3 号)の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議第 1 号	案	和解に関し議決をを求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※石亀議長は採決には加わりません。

## 6月定例会

# 一般質問 町政を問う 6議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 うわのみよじ <b>上野三四二議員</b>	先手必勝こそ 粟石の米づくり	7
 いわもちきよみ <b>岩持清美議員</b>	獣医は足りているか	8
 やまぎきるみこ <b>山崎留美子議員</b>	ゴミの減量、具体的手法は	9
 にしだまさひろ <b>西田征洋議員</b>	子ども医療費無料化 県内は高校卒業まで	10
 すぎさわとしあき <b>杉澤敏明議員</b>	網張地区地熱開発調査の 進ちよく状況は	11
 おおむらしょうとう <b>大村昭東議員</b>	地方版総合戦略の具体内容は	12



本会議での採決の様子



# 獣医は足りているか

町長／深刻な不足にはなっていない



獣医の確保は、  
数年先を見すえて  
やるべきだ。

**問** 町では、3年間で300頭の牛を増頭する計画をしている。畜産農家の内には獣医が少なく、思い通りに依頼する事が困難になって来ているという声がある。獣医確保の為に、何か考え、行動しているか。

**町長** 平成25年3月にJA新いわて南部地域家畜診療所が廃止され心配されたが、当初心配されたほどの深刻な獣医師不足にはなっていない。本町に獣医師を招くのは大変難しいので、開業獣医師に加え、農業共済組合による体制が基本となる。今後、町内の開業獣医師や関係機関団体と協議、検討をしていく。

## 火山砂防と治山事業は

**問** 本町には、活火山としての駒ヶ岳、岩手山がある。24年前の雲仙普賢岳の大火砕流は今だに忘れる事は出来ない。今年に入って箱根山や口永良部島など噴火が起きている。また、平成25年8月9日の本町を襲った大豪雨の事もあり、八幡平山系直轄砂防事業の早期完成と8.9豪雨災害を受けて県が行う山津田地区と上野地区の治山事業の進展はどうか。

**町長** 平成27年5月現在、直轄砂防事業として葛根田川流域を中心に11ヶ所が完成している。秋田駒ヶ岳の噴火対策としては、雫石川上流域に3ヶ所の堰堤整備が平成33年の完成に向け整備を進めている。他に新たな計画も進んでいる。山津田地区の復旧治山事業は、床固工、法砕工で7月から来年2月までの事業実施と平成28年度は、今年度に引き続き法砕工を主に計画している。上野地区の状況は、6月から来年1月までに谷止工1基を設置し、住民の生命財産を守る。



早期完成が望まれる山津田地区

## 町内の人ふるさと納税は

**問** 町内の方が雫石町にふるさと納税する事はできるか。その際、謝礼特典は使えるか。

**町長** ふるさと納税による寄付金は、町の貴重な収入財源になると同時に町の特産品のPRになる。今年度9月から新方式にて運用する。本町に居住されている方が、本町に対してふるさと納税をした場合は、町外の寄付者と同様の特典が使える。

■他にこんな質問もしました  
・面談室の設置について

# ゴミの減量、 具体的手法は

町長／目標値一人874gで  
取り組んでいく



4年間16回の質問を  
終えたなあ。  
ゴミや住宅の問題は  
環境とも密接不可分。  
食や心の問題は  
まだまだある。

**問** ゴミの排出量は22年度には約6,300トンまで減少したが、23年度以降は増加に転じた。環境基本計画にある32年度目標値は、一日の排出量が一人874gとしているが減量の具体的な手法は。

**町長** 24年度は約6,600トンと増加したが26年度は6,300トンと22年度並みになった。しかし、26年度では一人一日当たりのゴミの排出量が992gで増えている。特に生ゴミの量を減らすことが重要だと考え、まずは町民および事業者等の代表11名のメンバーで取り組みに関し情報交換を行っている。

**問** 滝沢市と一緒にゴミ処理をしているが、町の負担率が1%低くなれば1,400万円も少なくなり、町民の負担も減るのだということをもっとPRしていく方法があるのでは。

**環境対策課長** 1%減らすと、27年度予算では1,500万円の減額にもなるが、地域コミュニティの研修会で数字を出し、住民の協力があればこのぐらい減る、と話している。婦人会の中でも数字を広報などに掲載してほしいという要望があったので、環境特集の中でも周知し取り組んでいく。

## 町営住宅建設計画は

**問** 建設計画スケジュール表が出たが、現在の入居者が低廉な家賃で継続して暮らせることが担保されているか。

**町長** 現在の家賃は最低で2,700円、最高が1万500円で入居者の収入に応じた額としている。立て替えた場合家賃が上がるが、政令で定められており、他の入居者との公平性の観点から特定の入居者の家賃を低くすることはできない。しかし入居初年度は低く設定し、5年間で段階的に上げていく制度や、事情がある場合は家賃の減免もできるのでこれらの措置を講じつつ現在の入居者が継続して入居できるよう努めていく。

**問** 社会資本の形成においても、ライフサイクルコストの低減を前提にした計画とするべきではないか。

**町長** 低減に資する様々な技術や工法が開発、活用されており、町有施設等においても積極的に採用するよう努めており、新高前田の建て替えにもひとつの目標としてライフサイクルコストの低減に配慮した事業を実施したい。

### ■他にこんな質問もしました

- ・庁舎内のペーパーレスに向けての取り組みは
- ・自殺防止に対し、より踏み込んだ対策について

# 子ども医療費無料化 県内は高校卒業まで

## 町長／必要なものは総合的、段階的に整備



国民世論と正反対の  
ことをやり続ける  
政府って、いつた  
い何なんだ？

**問** 県内では子ども医療費助成は今では33自治体中、高校卒業までが10自治体、中学校卒業までが雫石町も含めて12自治体、両方で県内自治体の66%となる。今では雫石町の助成は進んでいると胸を張って言えない状況であり、高校まで助成を拡げる考えはないか。

**町長** この制度は安心子育て医療費助成制度として施行し大変喜ばれているもの。高校卒業までの助成の場合は新たにおよそ750万円の町負担が見込まれる。今後とも様々な動向を踏まえながら検討してまいりたい。

**問** 高卒まで、中卒まで助成の自治体のうち半分が津波被害を受けた沿岸地域であり、そこには財政面で大変な中、必死になって子どもたちを支えている姿が浮かび上がる。雫石の良さをアピールする目玉ともなるものでもあり、自治体の姿勢を示す典型として取り上げるべきだ。

**町長** 心情的には西田議員と同じ気持ちだ。28年度以降は財政面も考えて必要なものはやっていく。

### 放射能除染牧草地再生事業

**問** 27年度で打ち切るというが、国の補助が続けば28年度も続けるか。

**農林課長** 町の財源負担分も含めて検討していきたい。

**問** この事業は町内牧草地の84%を更新する一大事業となった。低マグネシウム血症からくる疾病を予防するマグネシウム剤の施肥を含む肥培管理のシステムを確立して、生産基盤として優良な牧草地としての維持管理の恒常化を目指すべきではないか。

**農林課長** 普及センター、JA新いわて、生産部会他を通じて取り組んでいく必要があると思っている。

### 優良子牛の町内保留事業に町補助を

**問** 子牛価格への町の上乗せは様々な効果をもたらすはずだが。

**農林課長** 肥育も含めてどういうことができるか検討する必要性は感じている。



優良子牛の町内保留が望まれる

# 網張地区地熱開発調査の 進ちよく状況は

町長／<sup>こうぞうしすいせい</sup>構造試錐井を掘削、  
地下熱は有望



噴気試験を実施し、  
地下熱の能力が明らか  
にならないと、発電が  
できるかどうか分から  
ないようだが、見込通  
り2次利用までできる  
ようになることを期待  
している。

**問** 網張地区地熱開発調査は3年目に入ったが、現在の計画の進ちよく状況や調査結果はどうなっているのか。

**町長** 26年度には、深さ245.5メートルの<sup>こうぞうしすいせい</sup>※1構造試錐井掘削を実施し、坑内地質調査を行った。深さ242メートル地点での温度は43度と一般地域よりは高いものの網張温泉源泉の高温域が広く分布していないことが明らかとなったが、井戸の底付近の10メートルでの温度上昇は10度と高く、より深い地点では熱的に有望であることが示唆されている。27年度は、地質総合解析を継続して行うほか、網張温泉源泉の噴気試験を実施し、その能力を明らかにするとともに、昨年度掘削した水井戸の揚水試験を実施し、長期的に揚水可能な水量を推定することとしている。

**問** これまでの調査結果から地熱の2次利用の見通しはどうか。

**環境対策課長** 1,000キロワットの発電を前提条件とし、5度の冷却水を60度まで加熱して外部に送るということで検討した結果、暖房、給湯、融雪、観光用栽培ハウスに使用することを想定した。網張温泉では、暖房、給湯費が約1,000万円節減、ありね山荘では約300万円節減できると言う試算も出している。

## (株)雫石まちづくり会社（仮称）の 設立見通しは

**問** 町は、沼返の町有地14ヘクタールの有効活用を図るため、(株)雫石まちづくり会社（仮称）を設立するとしているが、この会社の規模等具体的内容はどのようなものか。

**町長** 町とまちづくり会社事業への参加者が合意したうえで、民間主導の会社として本年度の会社設立を目指しているところであり、今後の勉強会を踏まえ、会社の名称・規模・出資割合・役員等が確定される予定である。7月には会社設立に必要な定款を定め、8月には（仮称）まちづくり会社の趣旨、事業内容及び運営手法

等をまとめたうえで、議員、町民に対し説明会を開催し、9月にはまちづくり会社設立の出資額等についての予算化を図り、10月を目途にまちづくり会社を設立したいと考えている。

<sup>こうぞうしすいせい</sup>※1：構造試錐井…地下の地質構造及び温度の調査を目的として掘削する井戸。終了後埋め戻すもの。

### ■他にこんな質問もしました

- ・網張温泉元湯の代替井掘削工事の結果はどうなったのか
- ・矢櫃地内のごみ投棄場の管理はどうなっているのか

# 地方版総合戦略の具体内容は

## 町長／人口減少に対応した施策に取り組む



答になっ  
ていない  
地方創生  
総合戦略  
の具体的  
内容につ  
いての  
聞いている？

**問** 雫石町が地方創生のなかで勝ち組みとして生き残るため、町長が強く主張していた民間発想、民間感覚で行政を運営する要である最高幹部職員の民間人の登用や、小学校10校ある学校区に自治区を敷き、町長の公約である自治基本条例を早急に制定し、町長の一期目二期目の Manifesto の約束、更には、私の今までの一般質問で論議のあった「雇用促進戦略」「健康寿命100歳化戦略」「出産・子育て環境整備戦略」「定住移住都市農村交流戦略」「小中学生学力、体力、徳育向上戦略」「雫石盆地3千年の景観保全戦略」「自殺対策アクション戦略」などの事案を職員・住民起点の政策アプローチで町民福祉につなぐべきである。

まち・ひと・しごとづくりの地方創生は、雫石町を再生、再興する絶好の機会であり、このことに鑑みて「地方版総合戦略」づくりの進捗状況と、その具体的内容について所信を伺います。

**町長** 住民の皆様をはじめ、各分野から専門的な意見を聞きながら、職員総動員の全庁をあげた体制の中で、英知を結集し、人口減少に対応した施策を生み出して行く。

**問** 地方創生総合戦略のなかで、お金が町外に流れないように、町の中に仕事を作り、町内でお金を回すか、更にはどうやって外からお金を持って来るのか、どのようにして財政の堅持につなげていくのか。そのために町独自の地域通貨を発行すべきであると思うがどうか。

**企画財政課長** いま一度、今回のプロジェクトを通じて再検討する。

**問** Iターン者が400人以上という驚くべき成果を上げている、人口2,300人のある町がある。こうした町の取り組みをつぶさに調査研究し、具体的にスピード感をもって地方創生に取り組むべきでないか。

**企画財政課長** 全国の自治体の例も参考としながら、新しい施策も検討していきたい。



御所地区第1回地域づくり会議

### ■他にこんな質問もしました

- ・滝沢・雫石農林業活性化普及センターの設置について

# あの質問は…その後どうなった



## 質問

町として林業技師等、有識者の配属の必要はないか。  
(平成 26 年 9 月定例会)

処理状況

## その後

- ・平成 26 年 9 月定例会  
林業技師は、地方公共団体に必置義務がないことから採用をしていない。町有林の管理は、町有林ごとに町有林監視員 7 名を委嘱しており、御明神財産区有林の管理は御明神財産区管理会により行われ、担当職員が連携し、公有林の適正な管理に努めている。
- ・平成 27 年 6 月定例会  
より適正な公有林の森林管理に資するため、林業対策専門員の報酬を定め、7 月から配属するよう予算措置した。  
(H27 一般会計補正予算 (第 1 号) 可決)

## 質問

町有地 14 ヘクタールの活用について、今後の見通しはどうか。  
(平成 24 年 12 月定例会)

処理状況

## その後

- ・平成 25 年 12 月  
具体的には医療、福祉をテーマとした A 案、住宅、ライフスタイルをテーマとした B 案、観光をテーマとした C 案の 3 案がある。それぞれのテーマの実現に向けて課題など、今後も検討を進めていく。
- ・平成 27 年 3 月  
町有地活用基本計画検討支援業務の報告書に基づき、開発の一切を(株)栗石まちづくり会社(仮称)に委託。町は経営や開発手法には介入しない。
- ・平成 27 年 6 月  
10 月までに(株)栗石まちづくり会社(仮称)の設立を目指し、町内外の民間事業者に対する説明等を行っている。



## 第37回 在京雫石町友会主催の交流会に参加して

平成 27 年 6 月 20 日(土)、第 37 回在京雫石町友会の総会と交流会が東日暮里のホテルラングウッドにて開催され、参加してきました。

当日朝 8 時 33 分雫石駅発の新幹線で上京し、山手線を乗り継いで日暮里駅から徒歩 2 分ほどで会場のホテルに着きました。

東京は前日まで雨の日が続いていたようですが、当日は私たち一行を出迎えてくれたかのような爽やかな快晴の空でした。

ちょうど前日は、【雫石町プレミアム旅行券】が東京で発売される日だったので、「いやあ、昨日はどしゃ降りの雨の中、買いに行っただ変だったよ」とおっしゃっていた方がいました。

午前中に在京雫石町友会総会が行われ、正午からの交流会に、当議会からは石亀議長、

坂下議員、杉澤議員、岩持議員、山崎(芳)議員、横手議員の 6 名、町当局からは深谷町長はじめ先般就任した米澤誠副町長ほか 8 名が参加しました。

その他にも、階猛衆議院議員、大宮惇幸県議会副議長、土橋幸男雫石商工会会長、さらに郷土芸能の部で中川愛子さん、<sup>やまがみまもる</sup>山上衛<sup>いつき</sup>さん、山本樹さんが参加しました。在京町友会会員は 50 名が参加し会場は大変盛り上がった交流会となりました。

乾杯のあと、懇談、郷土芸能の唄や踊りと続き、集合写真撮影、最後に恒例の幹事の石田さんによるエールで締めさせていただき、またの再会を約束し会場を後にしました。

交流会終了後は日暮里駅から JR、地下鉄を乗り継ぎ、銀座にある「いわて銀河プラザ」を視察し帰町しました。



交流会会場の様子



あいさつする新里会長

# 常任委員会●活動報告

## 調査実施日／

平成27年6月10日、11日

## 調査項目／

所管事務調査、請願・陳情審査

## 総務

## 調査実施日／

平成27年6月10日

## 調査項目／

所管事務調査、現地調査

## 教育民生

総務常任委員会（前田隆雄委員長）は、以下の所管事務調査を行いました。

### 1. 所管事務調査（6月10日、11日）

27年度主要事業と条例改正案について、出納課、税務課、防災課、総務課、企画財政課、町民課、農林課から聞き取り調査を行いました。

- ・26年度町税収納成績調査比較について（税務課）
- ・原子力発電所事故に係る損害賠償請求について（防災課）
- ・28年度希望郷いわて国体について（総務課）
- ・ふるさと納税、新方式導入について（企画財政課）
- ・生活交通対策事業について（町民課）
- ・27年度多面的機能支払調書について（農林課）

### 2. 請願・陳情審査（6月10日）

- ・請願第3号 立憲主義及び平和主義を否定する「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定」を撤回し、集団的自衛権の行使を可能とするすべての立法や政策を行わないことを求める請願  
審査の結果、継続審査としました。
- ・陳情第3号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービス体制・機能の充実を求める陳情書  
審査の結果、趣旨採択としました。

### 3. 閉会中の継続調査

- ・地方創生の取り組みについて

教育民生常任委員会（加藤真純委員長）は、以下の所管事務調査を行いました。

### 1. 現地調査（6月10日）

- ・【町営体育館】暖房設置、1Fアリーナ27台、2F観覧席19台、合計46台を設置。新たに暖房使用料がかかるが、運動前に体を温める事ができ、観客の暖を取ることができるようになりました。
- ・【西根保育所】築35年が経過し、床・ドアにガムテープを張るなどの配慮はみられるものの、子どもの安全が確保できない状況でした。また、調理室が使いにくいようでした。
- ・【七ツ森保育所】雨漏り、テラスの不具合、運動場の整備等要望が出されました。

### 2. 所管事務調査

- ・患者等輸送バス運行事業について（健康推進課）
- ・御所公民館体育室屋根改修工事について（生涯文化課）
- ・27年度町の重点事業について（社会教育課）
- ・臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金について（福祉課）
- ・27年度雫石中学校スーパーエコスクール改修工事実施設計について（学校教育課）

### 3. 閉会中の継続調査

- (1) 小学校の適正配置について
  - ・廃校後の利活用
- (2) 高齢化対策について



暖房が設置された  
町営体育館

## 常任委員会●活動報告

### 調査実施日／

平成 27 年 4 月 28 日、6 月 10 日

### 調査項目／

所管事務調査、請願審査、現地調査

## 産業建設

産業建設常任委員会（上野三四二委員長）は、以下の所管事務調査を行いました。

### 1. 現地調査（4月28日）

- ・改修工事が行なわれた道の駅あねっこの現地調査を実施（観光商工課、道の駅支配人立ち会い）

### 2. 所管事務調査（4月28日）

- ・予定されている減反廃止に伴う雫石農業の現状と課題について（農林課）

### 3. 所管事務調査（6月10日）

- ・道の駅雫石あねっこの状況について（観光商工課）
- ・6月補正予算に係る説明等（農林課）
- ・議案第5号について他（地域整備課）

### 4. 請願審査

- ・請願第4号 農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願  
審査の結果、不採択としました。

### 5. 閉会中の継続調査

- ・予定されている減反廃止に伴う雫石農業の現状と課題について



リニューアルした「道の駅あねっこ」の売り場



「お休み処こまくさ」もリニューアル

## 議会映像配信を開始します

町民の皆さんに、議会と町政に関心を持ってもらうため、議場での本会議の映像をインターネット（ライブ中継及び録画映像）で配信します。

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンで、一般質問、審議の経過、採決の様子等や町政に係る重要な情報が見られるようになります。（インターネットの環境整備は各自で設定が必要となります。）

また、議場内には大型スクリーンが設置されますので、ご来場いただいた傍聴者にとっても、審議の内容がわかりやすくなることが期待されます。

議場の工事、配信テストを終え、配信開始は年内の予定です。



大型スクリーンの設置により、傍聴席からも議員の顔が見られるようになります

# 岩手地区議会議員大会が開催されました

岩手地区（滝沢市・雫石町・岩手町・葛巻町）の市町議会議員は毎年一堂に介し、諸事項の早期実現を図るため、地域の諸課題を検討、研修、審議を行うための議員大会を開催しています。

本年は、去る7月2日(木)町立中央公民館「野菊ホール」において、第62回岩手地区議会議員大会が開催され、各市町から提出された議案を慎重審議の結果、7項目の議案が採択されました。今後、国及び県に対し、諸課題実現のために積極的に措置を講じるよう大会の総意をもって強く要望していくこととなりました。



採択された項目は次のとおりです。

1. 広域的な観点からの道路整備促進について  
(滝沢市、雫石町、岩手町提出)
2. 地域振興の観点からの道路整備促進について  
(滝沢市、葛巻町、岩手町提出)
3. 県立高等学校の存続について  
(雫石町、岩手町、葛巻町提出)
4. 農業振興対策の推進について  
(雫石町、岩手町、葛巻町提出)
5. 林業振興対策の推進について  
(滝沢市、雫石町、岩手町、葛巻町提出)
6. 農業農村整備に係る財源確保について(滝沢市)
7. 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）見直しについて  
(滝沢市)

当議会からは、石亀貢議長が大会宣言を行い、坂下栄一議員が議長団に選出されました。また、上野三四二議員（産業建設常任委員長）が「農業振興対策の推進について」と「林業推進対策の推進について」の2項目を代表提案し、進行は横手寿明議員が行いました。

## 新たな体制へ 議員定数4人減 町議16人決まる

雫石町議会議員選挙が7月12日町内12カ所の投票所で行われ、現職15人、新人1人の計16人が当選しました。

投票率は65.79%で、平成23年に行われた前回選挙の70.99%を5.2%下回りました。当選した議員は次の通りです。任期は平成27年7月31日から平成31年7月30日の4年間となります。

氏名	年齢	党派	新現元別	氏名	年齢	党派	新現元別
西田 征洋	70	日本共産党	現	村田 厚生	67	無所属	現
堂前 義信	56	無所属	新	川口 一男	72	無所属	現
坂下 栄一	62	社会民主党	現	前田 隆雄	59	無所属	現
山崎 芳邦	70	無所属	現	岩持 清美	64	無所属	現
杉澤 敏明	70	無所属	現	上野三四二	76	無所属	現
山崎留美子	60	無所属	現	横手 寿明	46	無所属	現
谷地 善和	62	無所属	現	大村 昭東	73	無所属	現
石亀 貢	68	無所属	現	加藤 眞純	65	無所属	現

(敬称略：届出番号順)

議会を  
傍聴しませんか

**第5回 臨時会……8月4日(火) 午前10時～**  
〔議長、副議長の選挙、常任委員会の構成などが決まります〕  
**第6回 9月定例会…9月上旬**

予約の必要はありません、お誘いあわせの上お気軽においでください。  
傍聴席は4階にあります。



# 議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



よしだ ひろき  
吉田 博輝さん  
(40歳・安庭行政区)



よねざわ ゆうえつ  
米沢 勇悦さん  
(47歳・中町1行政区)



いっぽんぎ たかひさ  
一本木 孝久さん  
(43歳・天瀬行政区)

## 町行事等へ 参加するべき

今年度、地元小学校と町PTA連絡協議会会長をさせていただいております。その関係上、様々な会議や集まりに参加することが多くなりました。

今までそのような会議があったことも知らず、多くの方たちが、自分の時間を割いて雫石町発展のために尽力されていることを知りました。心から感謝申し上げます。

特に、行政・議会の方々は雫石町が進んでいく舵取りの中樞を担っています。また、行事やイベント、プロジェクト等を企画・発信されています。しかし、我々町民もそれを待っているだけでなく、連携を取りながらどんどん参加するべきではないでしょうか。

来年は、当町でも国体が開催されます。町を挙げて関係者を迎え入れ、成功することを願っています。

## いま、おもうこと

現在日本は少子高齢化という大きな問題を抱えています。決して雫石も例外ではありません。

私は理学療法士ですが、加齢を原因として起こる疾患や歩行障害を抱える方が多いことを仕事柄、実感しております。

医療費の増大や介護保険利用者の増加の原因となり、将来我々や次世代の若者たちの重い税負担につながってくるでしょう。

それらを少しでも減らすためには、平均寿命ではなく、健康寿命を延ばすことが重要で、そのための施策が必要になってくると思います。

「父」としては消費税等の税負担が増えてきますし、将来の年金支給に関して不透明な部分が多く不安が絶えません。

しかし、子どもが勉強、スポーツに打ち込む姿を見るにつけ、次世代を担う子どもたちのサポートをどのようにしていくべきか、議会をはじめ我々町民みんなで議論していくべきだと感じています。

## 「みんな」とだから できること

昨年度、雫石高校のPTA会長となり、たくさんの方々のご協力をいただき大変お世話になりました。また25年間お世話になった職場でも多くの組合員の皆様をはじめ職員の皆様方に支えられてきました。消防団、行政区行事、郷土芸能のどれをとっても「ひとり」では成し遂げることができず「みんな」とだからできることばかりであり、お世話いただいた皆様にはとても感謝しております。

雫石は素晴らしい自然と働き者の気質を持った人材に恵まれていると思います。その良さを活かし、みんなで力をあわせればもっとできることがたくさんあるはずで、未来を担う子供たちが安心して健やかに育てるような町になるよう、みんなが少しずつ協力し合える町政であってほしいと願います。

## ふるさとへの便り— 60

在京雫石町友会 会員 **富楽フミ子**さん  
(旧姓・橋本)



### 波乱万丈の生い立ちに感謝

私は8人兄弟の末っ子として生まれました。貧乏な家庭だったので子供の頃から波乱に満ちた人生でした。酒好きの父親(龍男)が酔って帰った時は母を守るのが父から溺愛されていた私の役目でした。小学1年のとき、母から突然今日からよそ(近所)の家の子になりなさいと言われ、言われるがまま何日か過ごしていたが、学校帰りには実家の前を通って帰宅するわけで、とうとう実家に帰ってしまいました。母としては我が子を少しでも裕福なところで生活させたい思いだったと思いますが幼い心にもせつないものでした。

幼馴染みのキヌエさん(福田こうへい氏の母)とはたくさんの思い出があります。小学校時代は踊りをしていて、友達4、5人で学校の講堂で踊りの発表会をしました。企画から学校との交渉、踊りの指導などすべてキヌエさんがやってくれて意志の強い子でした。

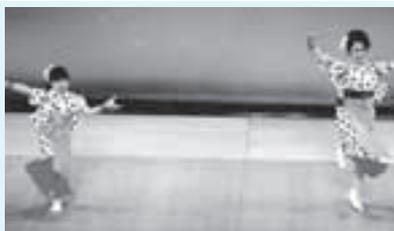
また岩手山登山、松島の修学旅行、小岩井農作業と思い出もなつかしいです。

中学時代は姉(杉下タマエ)の嫁ぎ先で3年間お世話になりました。早朝から農作業で多忙な時は姉に代わって小さい子供の世話、朝ご飯を作ってから学校に行き、下校後も子供の世話、夕ご飯を作ったりもして、私の辛

抱強さはこのころに鍛えられたようで今思えば感謝です。15才の春、中学卒業と同時に集団就職で日立製作所に内定していました。しかし母親が心配して反対され、結局、民謡歌手もしていた長兄(馨)の働いている千葉県野田のキッコーマン(株)で働くことになりました。ここでも私の波乱の人生は続き、ある日会社重役宅に養子に行けと言われ、行ってみるとあまりの生活環境の違い、ことばの問題、豪華な家には心の安らぎもなかった。他にもお見合いの話が何件もきたので、私は人生の決断をしました。人からの受け身の人生でなく思いのままの道を進もうと、当時いい関係だった職場の人(夫・喜一郎)と駆け落ち同様に家庭を持ちました。人生で自分の意思で行動できたのは初でした。その後の生活は苦勞しながらも何とか頑張り、子供二人孫6人に恵まれて、趣味の踊りをみがきながら、現在は孫と同じ舞台上で踊るのが楽しみであり、生きがいです。兄妹も半数は亡くなりさみしいですが、すぐ上の兄(昇)とは何かと言い合いながら仲良く面倒をみて貰い心強いです。たまに故郷に帰り実家近くの岩手山を仰ぐと、なんとすばらしく、さわやかな昔の空気を感じます。



鶯宿温泉での「いとこ会」(前列左端が本人)



孫との  
舞台共演



江の島にて  
夫と姉と

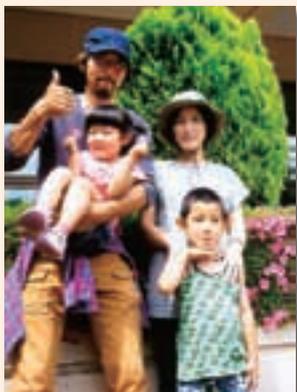
昭和23年野中行政区生まれ。千葉県松戸市在住。  
下長山小学校—西山中学校—キッコーマン株式会社  
趣味資格：日舞師範、津軽民舞踊増田龍師範、新舞踊嵯峨野流師範。

# 雫石町へようこそ



## お嫁さん

## お婿さん



左から 夫・<sup>まさひと</sup>栄仁さん(41歳)、  
長女の音寧<sup>ねね</sup>ちゃん(3歳)、望美さん、  
長男の紀仁<sup>のりひと</sup>くん(5歳)

ご縁があり、町外から迎えられた  
「お嫁さん」

もりあい のぞみ  
**森合 望美さん** (34歳 宮古市出身)  
(旧姓：山本、小松行政区在住)

**Q- お二人の馴れ初めは？**  
- 友人の紹介で知り合いました。

**Q- 雫石町に暮らしてみているいかがですか？**  
- 夏は自宅前の田んぼでホタルを楽しみ、昆虫採集から冬の雪あそびまで、自然の豊かさを満喫しています。子どもの遊び場が充実している事に、とても感謝しています。

**Q- 町へ望むことは？**  
- 若者が、雫石で子育てしたくなるような町づくりを期待しています。

## 議会の主な動き 4月～7月

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 4月 28日 議会運営委員会<br>議員全員協議会<br>産業建設常任委員会 | 7日 フラワーロード植栽                       |
| 5月 8日 臨時議会<br>議員全員協議会                  | 10日 各常任委員会                         |
| 13～14日 町村議会議運研修会                       | 11日 常任委員会全体会<br>議会運営委員会<br>議員全員協議会 |
| 15日 政務調査会<br>春の交通安全のほりロード大作戦           | 12日 政務調査会                          |
| 16日 しずくいし地域づくりフォーラム 2015               | 14日 消防操法競技会                        |
| 27日 議会運営委員会<br>議員全員協議会                 | 20日 第37回在京雫石町友会交流会                 |
| 6月 5日 6月定例会開会(12日まで)<br>議会広報編集特別委員会    | 26日 第11回滝沢・雫石連合畜産共進会               |
|  | 29日 千葉県富里市・雫石町災害時相互応援協定締結式         |
|  | 7月 1日 議会広報編集特別委員会                  |
|  | 2日 第62回岩手地区議会議員大会                  |
|  | 5日 消防演習                            |
|  | 15日 議会広報編集特別委員会                    |

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(4月～6月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4月	1件	20,000円	8件	28,000円
5月	0件	-円	8件	35,000円
6月	0件	-円	4件	22,000円
小計	1件	20,000円	20件	85,000円

## 今月の表紙

▶(右から)コーチの  
中村慶介さん  
(谷地行政区)と  
齊藤慶祐さん  
(林行政区)



雫石町サッカースポーツ少年団  
(代表：田中秀雄さん)

2014全日本フットサル岩手県大会で有名クラブチームに勝ち、見事岩手県第3位に。

現在団員は20人。10月に開催される大会に向けてグラウンド狭しと猛練習中。元気いっぱい少年たちの夢はJリーグ？W杯出場？キラキラした瞳がまぶしい。

練習は毎週月・水・土曜日。団員・サッカー好きな応援団ともに随時大歓迎。詳しくは、監督の下川原正之さん(☎090-1494-7203)までお問い合わせを。

## ■編集デスク

●今回の「議会だより」No.94は、現委員の任期中、最後の発行号となりました。私は昨年の補選後から編集委員として活動してまいりました。編集委員一同、「町民の皆さんに手に取ってもらい、わかりやすい議会だより」を motto に編集に取り組んできました。次号からもこの合言葉のもと、新しい体制の編集委員会が発行してまいりますので宜しくお願いします。(編集委員 横手寿明)

●右も左も判らぬままに任期満了。今後は中庸を旨に活躍できるかな。(編集委員 山崎芳邦)